



AG+ 評価法部会

20240107

評価法部会の目標

- 日本語の進歩が実感できる簡単な方法を工夫します。
- 子どもたちの次の目標につながる評価を提案します。
- わかりやすい観点評価を提案します。
 - ✓ 教師が到達度を簡単に測れるもの
 - ✓ 子どもが到達度を簡単に実感できるもの
 - ✓ 保護者が到達度を簡単に実感できるもの



記録が一目でわかる競技



〇〇秒

〇m〇cm

評価が難しい競技



〇〇点

ことばの力がどうついたのかをどう示すのか

- 言葉の4技能

	Input	Output
Oral Communication	聞く力	話す力
Written Communication	読む力	書く力

漢検

日本漢字能力検定

日本語能力試験

JLPT

Japanese-Language
Proficiency
Test

AP

日本語が好きだから

語検

日本語検定



JSL 日本語能力 アセスメント

[外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA：文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)

文部科学省では、学校において児童生徒の日本語の能力を把握し、その後の指導方針を検討する際の参考としていただくため、「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」を作成いたしました。

外国人児童生徒等に関わる方々に、積極的な御活用をお願いします。

評価法部会の目標

- 日本語の進歩が実感できる簡単な方法を工夫します。
- 子どもたちの次の目標につながる評価を提案します。
- わかりやすい観点評価を提案します。
 - ✓ 教師が到達度を簡単に測れるもの
 - ✓ 子どもが到達度を簡単に実感できるもの
 - ✓ 保護者が到達度を簡単に実感できるもの

評価の観点

- 話す力（会話・スピーチ・発音）
- 読む力（読解・音読）
- 聞く力（理解）
- 書く力（漢字・作文）
- 技能統合型
- 各技能の知識（語彙・文法・構成）
- 態度・Effort（宿題・ノート）

評価方法

- 検定
- ペーパーテスト・クイズ
- ゲームによる点数化
- ルーブリックによるパフォーマンス評価

スピーキングのルブリック

観点

基準

	主題・要点	詳細情報	語彙・文法	流暢さ
3	概要をまとめて話すことができ、一貫性がある	概要を補完する詳細情報が適切に含まれている。	適切な語彙・文法が効果的に使われている。	詰まることなく話す。
2	いくつかの要点を関連付けることができる。	概要を補完する詳細情報が時に含まれる。	語彙・文法が適切に使われている。	ときどき詰まることがある。
1	一貫性がなく不完全である。	詳細情報がほとんど含まれない。	語彙・文法の誤りのため伝えるのに困難がある。	詰まって話を終わられない。

規準

日々の授業で簡単に使える

評価活動が更なる育成につながる

目の前の児童・生徒に合わせて修正できる

評価活動そのものがコミュニケーション活動である

◆各技能・能力を測る評価を提案

- 岩井：書く力
- ロブソン：読む力
- 岡部：音読
- 井原：話す力（発表）
- 岩佐：読む力—聞く力
- 宮崎：書く力（作文）
- 雨宮：話す力（リテリング）
- 岡本：調査